

令和5年度 体力等調査の結果について

令和5年度に実施された体力等調査の結果について、杉並区立小・中学校の結果を報告する。

1 体力等調査の概要

| | |
|--------|---|
| 実施 | 東京都教育委員会 |
| 名称 | 令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査 |
| 目的 | 東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活運動習慣等の実態を把握・分析することにより、その改善を図るとともに、これらの取組を通じて、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。 |
| 対象（方式） | 都内公立学校の全児童・生徒（悉皆） |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力・運動能力に関する調査 ⇒握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルランまたは持久走、50m走、立ち幅とび、ハンド（ソフト）ボール投げ ・生活・運動習慣等に関する質問紙調査 |
| 調査時期 | 令和5年5～6月 |

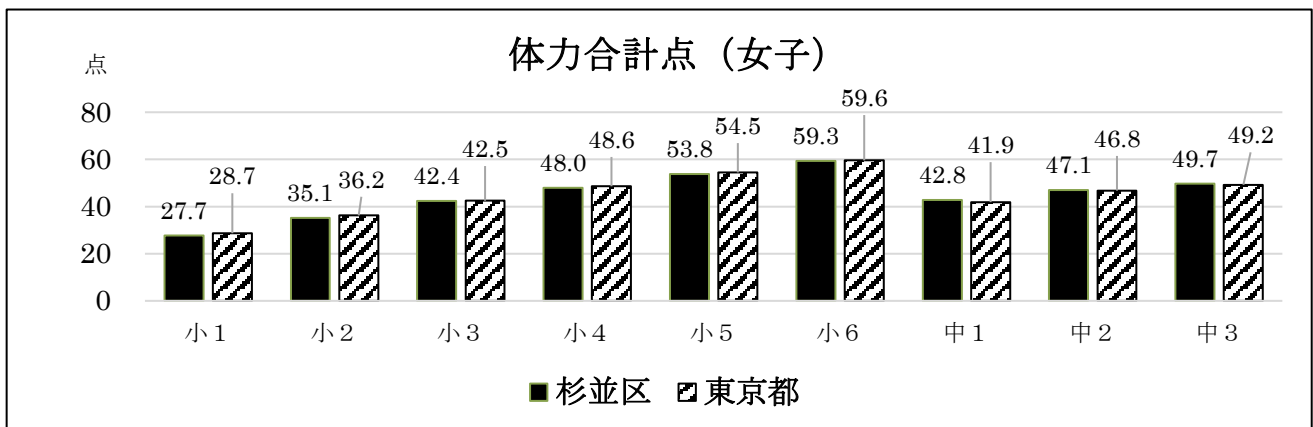
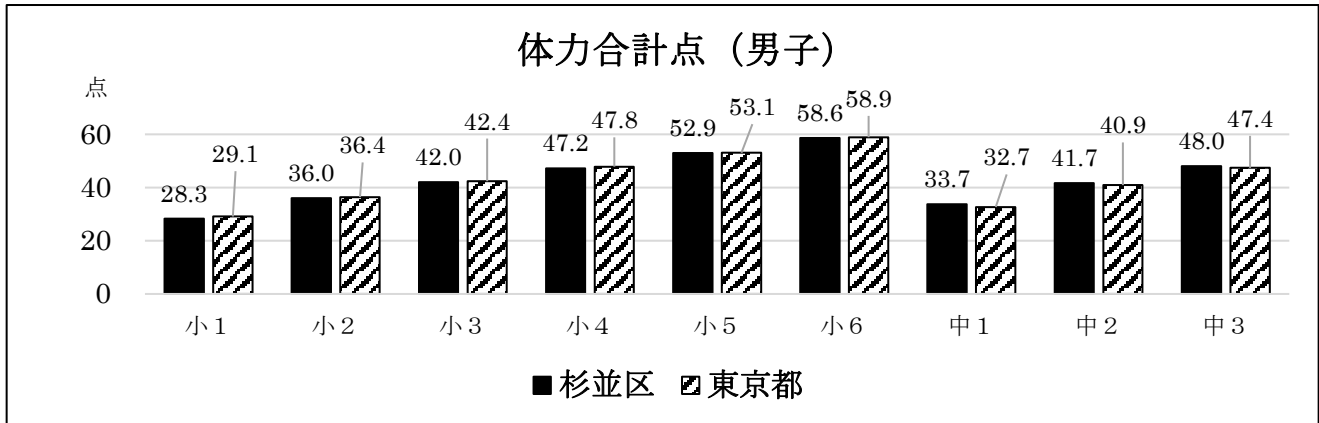
2 調査結果の概要

(1) 令和5年度の「体力合計点」

杉並区立学校の小・中学生の体力合計点平均値と東京都の平均値を比較すると、ほぼ同値であった。

【体力合計点】体力合計点とは、上記調査項目の記録を得点換算し、全ての得点を合計したものである。

※小学校と中学校では得点換算方法が変わるため、小学校と比較すると中学校の数値が下がる。



3 課題及び今後の取組

(1) 課題

- ・体力調査について、各種目で比較すると「反復横跳び」「立ち幅跳び」において下回った。体力要素で見ると、「すばやさ」や「力強さ」の向上が課題である。
- ・運動やスポーツを行う時間の減少は全体として回復基調ではあるが、令和元年度までの数年間の値と比べると、未だ低い傾向にある。特に、曜日ごとの推移を見ると、土日の運動時間が大幅に減少したままであり、増加傾向に転じる上では家庭との更なる連携した取組の推進が課題である。

(2) 今後の取組

- ・杉並区の体力調査結果及び体力向上に関する現状について、区立学校に周知する場を設定する。
- ・体力向上に向けて、要請訪問型の研修を実施し、児童・生徒が運動の楽しさを味わうことを視点とした体育授業の改善を支援すること、また家庭との連携を通して、運動好きな児童・生徒や日常から運動に親しむ児童・生徒の増加を目指す。
- ・体力向上を研究課題として、令和5年度に教育課題指定研究校を5校指定した。指定した学校においては、運動意欲の向上や身近な生活の中で運動やスポーツを行う時間の増加等に向けて研究を進め、今後取組過程や成果を区立学校に広める。
- ・教育委員会においては、子どもたちが自ら心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するために、様々な専門職、関係機関、関係所管課と連携し、運動の楽しさや技術などを学ぶ*体力づくり教室の実施を継続する。

*体力づくり教室：運動の楽しさや技術を専門家から学ぶ小学生を対象とした事業。

4 参考

